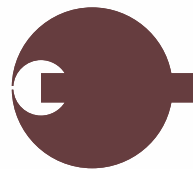


未来のまちづくりを共に考える

大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL 冬号(第8号)



NARA PREFECTURE

奈良県

巻頭インタビュー

飛鳥・平城宮跡歴史公園サポート共同体
管理センター長 諱 浩行さん

株式会社GPMO 取締役副社長 天米 一志さん

平城宮跡内の新施設を 奈良の新たな観光拠点に

平城宮跡内の新施設を 奈良の新たな観光拠点に

飛鳥・平城宮跡歴史公園
サポート共同体
飛鳥管理センター
管理センター長

いみな ひろゆき
諱 浩行さん

株式会社 GP MO
取締役副社長

あまめ かずし
天米 一志さん



飛鳥・平城宮跡歴史公園サポート共同体
管理センター長 諱 浩行さん(右)
株式会社 GP MO 取締役副社長 天米 一志さん(左)

平成30年3月24日、平城宮跡歴史公園内の「朱雀門ひろば」がよいよオープンします。国営区域の管理運営者である飛鳥・平城宮跡歴史公園サポート共同体の諱さん、県営区域の管理者である株式会社 GP MO の天米さんの2人に意気込みをお伺いしました。

歴史的価値の高い平城宮跡から奈良の魅力を発信

— 管理者となられた経緯についてお聞かせください

諱 飛鳥・平城宮跡歴史公園サポート共同体の代表は公園財団という一般財団です。公園財団は、現在全国に17箇所ある国営公園のうち13箇所維持管理業務を国土交通省より受託しているのをはじめ、都道府県等が設置する都市公園の管理運営や公園に関する調査研究、普及啓発などを行っております。県内では、国営飛鳥歴史公園(奈良県明日香村)を昭和49年の開園当初から管理運営にたずさわっており、昨年9月にはキトラ古墳周辺地区が新たに加わりました。そしてこのたび平城宮跡歴史公園がオープンを迎えるというわけです。

天米 株式会社 GP MO は「グローバルな視点で日本のローカルを元気にしよう」をテーマに、公的施設の活用や全国の官民連携事業など、地域の価値を高めるさまざまな活動を行っています。今回、奈良県による朱雀門ひろばの管理運営に関する公告を見て「こんなにポテンシャルの高い事業に取り組まない理由はない！」と思い、指定管理者のプロポー

ザルに参加させていただきました。歴史的価値の高い地で、新たな価値を生み出せることにとても魅力を感じています。

— お二人にとって、奈良とはどのような場所でしょうか

諱 最初に奈良を訪れたのは中学生の修学旅行です。大仏殿で感じた歴史の深さやお香の香りがとても印象に残っています。再び奈良とのご縁が繋がったのが3年前、国営飛鳥歴史公園に赴任した時です。お客様をご案内するため飛鳥や奈良の歴史を改めて勉強してみると、日本の始まりの地としてのさまざまな魅力があり、興味を深めているところです。

天米 私も同じく修学旅行の思い出が最初です。それからはしばらく奈良にご縁のない日々でしたが、このプロジェクトをスタートするにあたって詳しく調べるうちに、日本発祥の地としてのさまざまな魅力があることがわかってきました。「みんなにもっとこの魅力を知ってほしい」という気持ちになりましたね。
諱 自分自身が興味を持つと、もっと皆さんに広めたいと思いますよね。より沢山の方々が奈良の魅力を知るきっかけに私たちがなれたらと願っています。



現在建設中の平城宮跡歴史公園内の「朱雀門ひろば」。平成30年3月24日オープン予定

観光客にも地元の人にも 親しまれる存在に

— 具体的に、どのような施設運営をされるのでしょうか

天米 県営区域には休憩や展望スペースとなる「天平みはらし館」、観光案内や物販を行う「天平みつき館」、レストランやカフェが入った「天平うまし館」、さらに復原した遣唐使船に乗船いただけるコーナーもあります。これらの施設のテーマを「健康と学び」とし、様々な企画を進めています。一例を申し上げますと、映像や音楽を駆使したり、体験メニューで歴史を学べる場を設け、演出側として地域の方々にも参加していただく企画を考えています。カフェやレストランでは、三ツ星レストランのシェフがメニュー開発を手がけるほか、肉のスペシャリストとして話題となっている料理人にも関わってもらう予定です。物販は奈良ものが中心となりますが、歴史を紐解くと他の地域の名産でもその始まりは奈良であるというケースも多いんです。奈良から全国へと広がりを持たせる品揃えが出来ればと考えています。他にも、セグウェイを導入して広い敷地の移動を楽しんでもらったり、スマートフォンで古地図や現代地図

を見られるようにし、ゲームのように公園を巡ってもらう仕掛けを作るなど、構想は山のようにあります。

諱 私たちは平城宮のかつての姿や、出土品についての展示を行う「平城宮いざない館」を中心とするエリアを維持管理します。奈良県は奈良公園を中心に国内外からの来訪者がたくさんいらっしゃいますので、今回、新たな観光拠点として整備されたこの地を情報発信基地と平城宮跡の歴史と価値を学べる場に、来訪者の皆さんに喜んでいただきたいと考えています。一方、平城宮跡は地元の方の憩いの場として長く親しまれてきた場所です。「何もないのが平城宮跡のいいところ」という声も聞かれますが、そのような方々にも、気軽に日常使いしていただける公園として楽しめる場を作っていききたいと思っています。例えばキトラ古墳周辺地区でもたいへん好評いただいておりますが、勾玉づくりや墨作りなど歴史を感じられる体験や花、緑、健康プログラムなど、種類を豊富に揃える予定です。また、ジョギングや散歩を楽しまれる皆様にも気軽に休憩できる場として活用して頂ければと思います。家族連れをはじめ幅広い世代が楽しんでいただけるようにしていきたいと思っております。



キトラ古墳壁画体験館 四神の館にて「キトラ週末体験プログラム」の様子

天米 諱さんとはこの対談の前にお話しする機会がありました。が、やろうとしていることの方向性は驚くほどピッタリと一致していました。観光客だけではなく、地元の方々にも楽しんでいただける空間作りをしていけたらと思っています。

諱 運営するエリアが違うだけで、方向性は同じです。朱雀大路を挟んで異なる施設を運営していくわけですが、来場者の皆さんにとってはどこからが県でどこからが国といった境界線は関係のないもの。お互いに連携しながら、共にこのエリアを盛り上げていきたいですね。

「地域を盛り上げたい」 の気持ちは官民同じ

― 奈良県と国交省、それぞれの管理者として活動していける上で、組織的な制約や不便に思うことはありますか？

天米 県だから、国だからという組織的ながらみは全くないですね。メンバーの中には公務員経験者もあり、私もその一人なのですが、民間からの企画提案を真摯に捉えていただけているというのが共通の認識です。

諄 天米さんのおっしゃるとおり、組織が違うことで上手いかわからないといったことはないです。先ほど、方



向性が同じという話をしましたが、公園設置者である国や県の職員の方々についても同じかと思えます。公園管理者である国には様々な提案をしておりますが、それだけにとらわれることなく、県やGPMOの皆様とも連携し、また地元の方々にも力をいただきながら新しいものを作っていきたいと思えます。

天米 県の施設にしかない空間、国の施設にしかないものという異なる価値がありますし、来訪者の皆さんは施設間を行き来することでより楽しさが増すようにしたいですね。

諄 方向性が同じであるゆえに、プログラムが重ならないよう調整も必要です。それぞれの施設の違いや良さを生かしていくのが理想です。

天米 どんな施設もパーフェクトということはありません。使ってみて改めて「こうすればもっとよくなる」という部分はきつとあるでしょう。国の施設と県の施設でお互いを補完する機能を期待しています。施設のハード面、企画などのソフト面の両方で連携が可能なのは、このエリアだからこそできることではないでしょうか。



地域住民と一体となって、 新たな歴史を紡いでいく

― 開園を目前に控え、奈良の皆さんに伝えたいことは

天米 オープンの準備をする中で、飲食店組合や障害者雇用に取り組み団体など、地元で活動する方々とも行動を共にしています。地域に住まい、地域に根ざした活動をされているからこそ知っている歴史や、そこで育まれた人間関係を大切にしていきたいと思っております。

諄 観光などが目的の皆様も大事なお客様ですが、平城宮跡歴史公園は地元・奈良の皆さんあってこそ存在です。平城宮跡のガイドをしていただくボランティアをはじめ地元の方はとても熱心で歴史への造詣も深

い方が多く、平城宮跡やこの地域が大好きだという想いが伝わってきました。安全・安心に楽しめる公園として、地域の皆さんと共にこの地を盛り上げていきたいですね。そして3月24日・25日の2日間にわたって開園イベントを行います。大切なのはその後。この公園のこれからの歴史を地域の皆さんと一緒に築いていけるよう、管理運営に取り組んでいきたいと思えます。



奈良時代を今に感じる 平城宮跡歴史公園が 平成30年3月24日(土) に開園します

「1300年の時を
超えて「朱雀門ひろば」が
よみがえります」

奈良時代の政治・文化の中心であった平城宮の地に、奈良時代を今に感じるテーマとした「平城宮跡歴史公園」が、平成30年3月24日に開園することとなりました。

朱雀門の南のエリアには、1300年の時を超えて「朱雀門ひろば」がよみがえり、復原的に整備された当時のメインストリートとともに、新たな「にぎわいの空間」が誕生します。

県営公園部分では、奈良観光の玄関口となる交通ターミナルをはじめ、飲食サービスや交流スペースを設けた「天平うまし館」、物販サービスや観光情報を発信する「天平みつぎ館」、展望デッキやVRシアターを設置した「天平みはらし館」、団体客の集合スペースとなる「天平つどい館」など各施設を配置し、大宮通りからもその姿を眺望できる「復原遣唐使船」などもあります。



「復原遣唐使船」イメージ



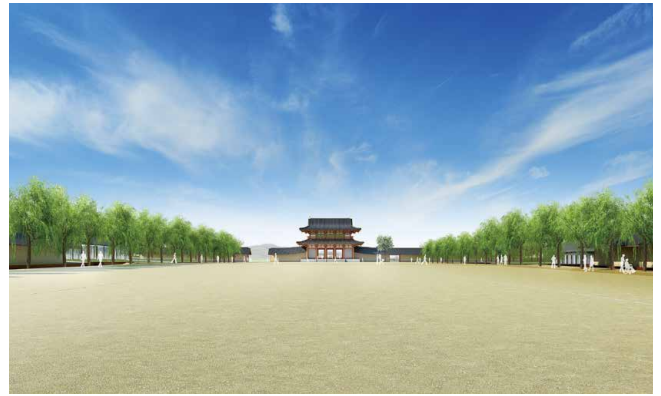
「天平みつぎ館」物販・特産品コーナーイメージ



「天平うまし館」レストランイメージ



天平つどい館とターミナルシェルター(朱雀大路より)



朱雀大路 (大宮通りより朱雀門方面)



「平城宮いざない館」イメージ

また国営公園部分では、平城宮跡を総合的にわかりやすくガイドする「平城宮いざない館」のほか、「朱雀大路」「二条大路」を復原整備するなど、新しい奈良の観光スポットが完成します。

なお、開園当日の平成30年3月24日と翌日25日には、オープニングイベントとして「阿倍仲麻呂」遺唐1300年を記念した音楽劇・散楽をはじめ様々な企画を催しますので、是非皆さまでご来園いただき、よみがえった「朱雀門ひろば」のにぎわいをお楽しみください。

【平城宮跡事業推進室】



「平城宮いざない館」では平城宮での人々の営みを再現した映像プログラムや各種体験ができる



バスターミナルの完成イメージ



歴史・文化を学習できる展示施設



平成29年12月18日現在の工事状況

（仮称）登大路バスターミナル事業の動き プロジェクトの進捗状況

奈良公園においては、公園中心部まで観光バスが流入することで、慢性的な交通渋滞が発生しています。

このため、県では、奈良公園のエントランス（県庁舎東側）にバスターミナルを整備し、公園中心部への観光バスの流入を抑制し、公園内を快適に周遊できる環境にすることを目指しています。

また、奈良公園は、自然や歴史・文化、公園資源等が融合した、日本を代表する公園であるにも関わらず、来訪者の滞在時間は短く、その

深遠な魅力を十分に伝え切れていないのが現状です。

このため、バスターミナルには、観光バスの待ち時間や休憩時間を快適に過ごせる施設を設け、アメニティの充実を図るとともに、奈良公園やその周辺地域の歴史・文化を体験学習できる機能をもたせ、奈良公園の魅力を一層充実していきます。

現在、建物の基礎工事を行っており、間もなく建物の姿が見えてきます。今後、展示施設や外構の工事にも着手し、平成31年3月のオープンを目指して進めていきます。

【奈良公園室】

大宮通り新ホテル・交流拠点事業の動き プロジェクトの進捗状況

県が整備する交流拠点施設(コンベンション)施設、屋外・屋内多目的広場、観光振興施設等からなる複合施設は、予定どおり昨年の9月に建築本体工事に着手しました。

現在、地下駐車場整備のために地盤面を掘り進めています。しばらくの間は地下の工事が続き、夏頃からは地上の工事が始まる予定です。工事期間中は地元の皆様には何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

また、隣接して事業を実施するホテル(JW Marriott)の国内初進出、NHK(奈良放送会館の移転)でも、各々のスケジュールに基づいて順調に事業が進捗しています。ホテル施設は昨年の12月に工事に着手し、NHK施設も5月頃の工事着手に向けて設計業務が進められています。

引き続き、関係者と連携しながら事業を推進し、平成32年春の「まちびらき」を目指します。

【大宮通り新ホテル・交流拠点事業室】



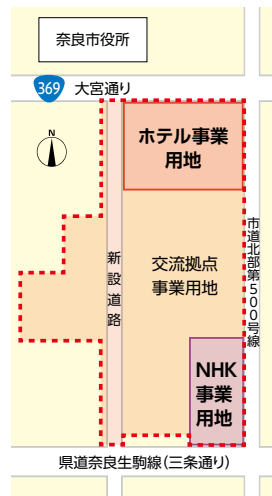
ホテルの全体外観パース(北東側)



NHKの全体外観パース(北東側)



平成29年12月18日現在の交流拠点施設の工事状況



大宮通り 無電柱化完了へ！

平城宮跡歴史公園前の 電線・電柱がなくなります

県では、「良好な景観形成」「防災性の向上」「安全で快適な通行空間の確保」の観点から、住民の皆さまのご理解とご協力のもと、電力・通信事業者と共に大宮通りの無電柱化に取り組んでおります。

1月には平城宮跡歴史公園前の電柱・電線の撤去がいよいよ完了し、奈良公園の玄関口である大宮通りの魅力がさらに高まります。是非ご期待ください。

【道路環境課】

無電柱化後のイメージ

名勝指定当時(大正11年)の風情が蘇る! 吉城園周辺地区保存管理・活用事業!

名勝指定当時の風情とは

吉城園周辺地区は、名勝指定当時の独特の邸宅の佇まいが残っている場所です。県は、次の4つのポイントからその風情を整理しました。

① 中世から近世にかけて、興福寺境内として関係諸院・諸坊等が建てられてきた地域形成の過程(歴史的背景)への配慮

② 室町時代より、景勝地として人々に慕われてきた歴史的背景への配慮

③ 名勝指定理由である「興福寺境内が形成する良好な風致」の保存管理は大前提

④ 吉城川を中心とする旧邸宅並びに樹林地を名勝に追加指定した経緯を尊重



副知事公舎



整備後

建築様式を保存した宿泊施設



知事公舎横の通路

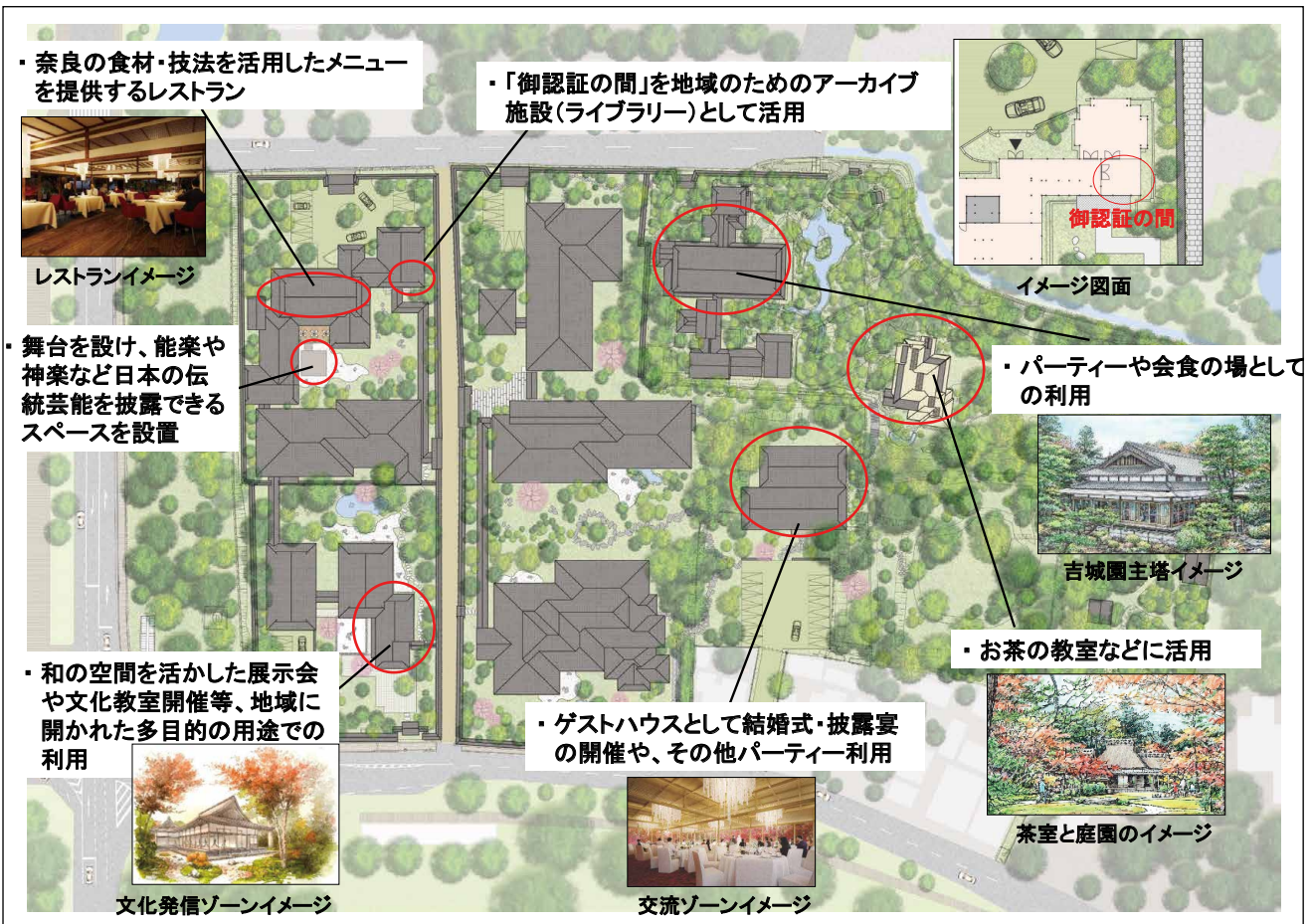


整備後

風情を取り戻した知事公舎横の通路

【奈良公園室】

①、②、③、④より当該地区の風情の形成には、「地割り」、「建築物」、「樹林地」が重要な要素を持つていると判断し、保存・管理活用事業のコンセプトを「江戸末期から昭和初期の「和を基調とした風情の中に洋を感じる近代建築物」と庭が織りなす空間のありかたと、往時を偲ばせる邸宅の雰囲気を感じ出す空間美を保存する。」と決めました。今後は、過去から親しまれてきた魅力を守り、管理の行き届いていなかった部分は、名勝指定当時に戻すことにより、当該地の価値を維持し、さらにその価値を高めます。平成32年春のまちびらきには、是非その魅力を体感して下さい。



施設利用計画案



高畑町界隈でのサロン文化の場となった志賀直哉旧居

名勝地・奈良公園「高畑町裁判所跡地」

高畑町裁判所跡地は、浮見堂と鷺池の南側、奈良公園の南端に位置する広さ1.3haの敷地です。

事業地では、文化的価値の高い庭園を主役に、その両脇へ宿泊施設と交流・飲食施設を一体的に整備します。

高畑町界隈のサロン文化

事業地が位置する高畑町界隈には、明治期から昭和初期にかけて、志賀直哉をはじめ、日本を代表する多くの文人や画家が住居やアトリエを構えていました。

特に、昭和初期には志賀直哉を慕って全国から多くの文人達が来訪し、文化的な交流(サロン)を深めていたこともあり、高畑町界隈全体に文化的な雰囲気広がっていました。現在も、その名残として志賀直哉旧居があり、県有形文化財に指定されています。

事業地は、その成り立ちを紐解くと、明治期から昭和初期にかけて、大阪の財閥「山口家」が所有していた時代があります。高畑町界隈の一角として、山口家の支援を受けながら、小見寺八山さんなどの画家や茶人等が、庭園や茶室で文化的な交流を図った歴史を有しています。この成り立ちから、敷地内に現存する庭園は、近代の奈良公園を代表する庭園であると高く評価を受けています。

風致景観を満喫できる上質な宿泊施設と交流・飲食施設

庭園の両脇に整備する宿泊施設と交流・飲食施設は、多くの文化人が交流を図った往時のように、名勝地・奈良公園の風致景観をゆつたりと楽しんでいただけの場とします。このため、両施設の整備・運営は、本県のパートナーである民間事業者が、独自ノウハウを最大限に活かして取り組むこととしています。宿泊施設は、奈良公園に不足していた名勝地でゆつたりと滞在できる場となり、交流・飲食施設は、県産材を活かした和食を楽しみながら、様々な交流を図れる場となります。

当該地のまちびらきは、平成32年春、ご期待ください！【奈良公園室】



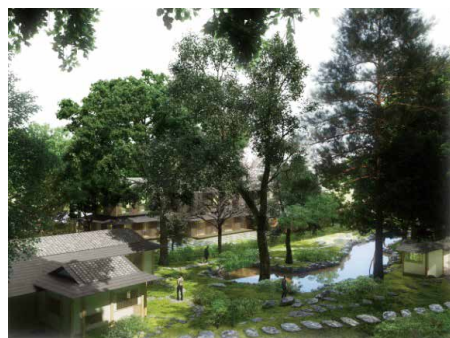
鷺池を望めるパーティ会場
(交流・飲食施設)



ゆつたりと庭園を望める客席
(交流・飲食施設)



名勝地でゆつたりと滞在できる客室
(宿泊施設)



庭園と調和した交流・飲食施設(中央)と茶室(左)



庭園と調和した宿泊施設

奈良の冬を熱く盛り上げるイベント

奈良大立山まつり

江戶時代から、県内各地には「造りものを身代わり」として、厄を落とす」という風習があり、それを「立山」と呼んできました。

その風習をもとに、平成28年から新たな冬のイベントとして始まったのが、「奈良大立山まつり」です。

四天王をモチーフとした巨大な大立山が巡行し、県内各地の伝統行事が集結するなど、平城宮跡で華やかなイベントを実施します。

今年も、過去最多の県内伝統行事の出演や、あったかもんグランプリ、地域のグルメ・特産品の販売など、見どころが盛りだくさん！

小さなお子さんでも楽しめる、エンターテイメントゾーンもございます。新春にふさわしい壮大なスケールで、家族そろって、美しい夜の平城宮跡をお楽しみください。



四天王の一角を担う迫力満点の持国天像



四天王を象った高さ7mを超える巨大で鮮やかな4基の光る山車「大立山」が勢揃いします

今年の大立山まつりの見どころ

【過去最多の伝統行事が出演】

毎年大立山まつりに出演いただいている地域の伝統行事ですが、今年もなんと過去最多の27団体が参加します。今年も新たに、「橿原市だんじり保存会・十市町」や「宇陀市 菟田野水分神社秋まつり」などが祭りを盛り上げます。



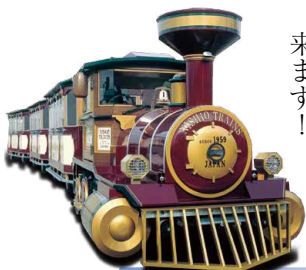
宇陀市 菟田野水分神社秋まつり



曾爾村 曾爾の獅子舞

【子ども楽しめるアトラクション】

「せんとくんエアドーム」をはじめとするエア遊具やロードトレイン走行など、小さなお子さま向けの催し物もご紹介します。また、日曜日にはあのNHKの「ストレッチマン」が会場に遊びに来ます！



時催
同開

県内全39市町村のグルメが揃う「あったかもんグランプリ」

大立山まつりの全期間中、県内全39市町村の地元食材を利用したご当地グルメを競う「あったかもんグランプリ」を開催します。

また、「あったかもんグランプリ」出品の料理のほかにも、地域のグルメ、特産品の販売も行います。

奈良の「ええもん」と「うまいもん」を一度に楽しめます！

【ならの観光力向上課】

開催日：平成30年1月26日(金)
 ～1月28日(日)
開催時間：26日 16時～20時
 27～28日 13時～20時
会場：平城宮跡朝堂院周辺
問合せ先：奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会
 ☎0742-27-8051

入場無料(飲食・体験は有料)



冬の一大行事「若草山焼き」

炎と花火が夜空を彩ります！

古くより続けられてきた若草山焼きは、今年は1月27日(土)(毎年1月第4土曜日に開催)に行われます。

聖火行列は、春日大社境内飛火野で行われている大とんどの火をもらい受け、17時05分頃若草山山麓の野上神社に向けて、飛火野を出発します。

野上神社で山焼きの無事を祈ったのち、33ヘクタールの草地に一齐に点火。山への点火、消火作業のため、毎年多くの消防団の方のご協力をいただいております。

また、山焼き直前には、600発以上の花火が打ち上げられます。県内最大級の冬花火も併せてお楽しみください。

その他、山麓ではステージイベントなども実施！また、海外からの観光客の方をおもてなしするため、多言語対応の観光案内ブースも設置します。



毎年、多くの方で賑わう若草山山麓で迫力満点の若草山焼きをご堪能ください。また、人気の写真スポット・平城宮跡では、今年も大立山まつりが同日開催。冬の奈良の一大行事を一緒にお楽しみいただけます。

なお、当日は若草山周辺などで通行規制が行われます。ご迷惑をおかけしますがご理解・ご協力をお願いいたします。

今後も若草山焼き行事を続けていくよう、皆さまのご協力をいただきながら、安全に細心の注意を払い実施してまいります。

【奈良公園室】

開催日：平成30年1月27日(土)

開催時間：18時15分 大花火

18時30分 一斉点火

会場：若草山一帯ほか

問合せ先：若草山焼き行事実行

委員会(奈良公園室内)

☎074212718677

入場無料

三社寺を光の回廊でつなぐ
「しあわせ回廊」なら瑠璃絵
奈良公園が美しい瑠璃色に包まれます！

本年度も、奈良公園一帯が幻想的な瑠璃色に包まれる「しあわせ回廊」なら瑠璃絵が開催されます。

期間中は、奈良を代表する三社寺、春日大社・興福寺・東大寺に夜間特別拝観を実施していただくほか、光のオブジェの設置、光の夜神楽なども行われます。

また、ご好評いただいております冬七夕ロード願いの花たんざくを引き続き、奈良春日野国際フォーラム薨庭園にて実施いたします。庭園一面が美しい瑠璃色に染まり、訪れる方をやさしく包み込みます。ぜひ、皆さまお越しください。【奈良公園室】

開催日：平成30年2月8日(木)

14日(水)

点灯時間：18時～21時

会場：春日大社・興福寺・

東大寺・奈良国立博

物館・奈良公園一帯

問合せ先：なら瑠璃絵実行委員会

☎074212010214

入場無料(一部有料)



しあわせ回廊
なら瑠璃絵
noraruite

イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
奈良大立山まつり	1月26日(金)~28日(日)	平城宮跡	奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会 ☎0742-27-8051	無料(一部有料)
若草山焼き	1月27日(土)	若草山一帯	若草山焼き行事実行委員会 ☎0742-27-8677	無料
しあわせ回廊なら瑠璃絵	2月8日(木)~14日(水)	春日大社、興福寺、東大寺、奈良公園一帯	なら瑠璃絵実行委員会 ☎0742-20-0214	無料(一部有料)
春日大社 節分万燈籠	2月3日(土)	春日大社	春日大社 ☎0742-22-7788	回廊内特別参拝は500円。また、3000円以上の初穂料で献燈可
東大寺 修二会	3月1日(木)~14日(水)	東大寺 二月堂	東大寺寺務所 ☎0742-22-5511	無料
平城宮跡歴史公園 開園イベント	3月24日(土)~25日(日)	平城宮跡歴史公園「朱雀門ひろば」	平城宮跡事業推進室 ☎0742-27-8945	無料(一部有料)
平城京天平祭	5月3日(木)~5日(土) 予定	平城宮跡	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	無料(一部有料)

「ぐるっとバス」ルートマップ

バス路線 Bus Route

- 奈良公園ルート Nara park Route
- 平城宮跡ルート Heijyo palace Site Route

乗車運賃 Ride Fare

1乗車 100円 (小学生以上)

ぐるっとバスの乗降方法

- 各ルートバスの前扉から乗車。
- 料金は前払いです。ICカードも使えます。
- 後扉から降車。

「ぐるっとバス」の詳しい運行情報は
 < HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」 >
<http://www.nara-access-navi.com/>

冬の彩り 大宮通りイルミネーション点灯

冬季に奈良県を訪れる観光客の「おもてなし」として、平成25年度より始めた大宮通りのイルミネーションを今年度も実施しています。

皆様のご意見を参考にさせていただき、毎年少しずつパワーアップしてきました。今年度は、動く鹿のイルミネーションの設置箇所を昨年度より増やしております。3月14日まで点灯していますので、引き続き「冬の彩り」をお楽しみください。

【道路管理課 TEL: 0742-27-7502】

点灯期間：平成29年11月24日(金) ~ 平成30年3月14日(水)
 点灯区間：奈良中央郵便局前~高天交差点



大宮通りジャーナル 冬号(第8号) 2018年1月発行

発行 奈良県
 編集 県土マネジメント部まちづくり推進局
 平城宮跡事業推進室

●各事業に関するお問い合わせ
 平城宮跡事業推進室 Tel.0742-27-8973
 奈良公園室 Tel.0742-27-8036
 地域デザイン推進課 Tel.0742-27-7521
 大宮通り新ホテル・交流拠点事業室 Tel.0742-27-8873

道路環境課 Tel.0742-27-8667
 道路管理課 Tel.0742-27-7502
 ならの観光力向上課 Tel.0742-27-8051